

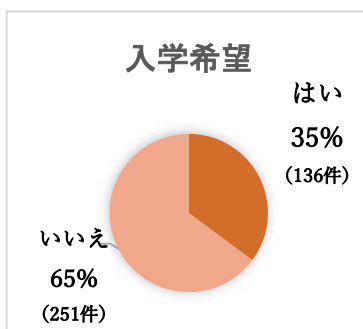
夜間中学に関するニーズ調査の結果について

1 ニーズ調査の概要 ※ 詳細は別添1, 2参照

- (1) 期 間 令和4年7月1日～8月19日
- (2) 対 象 鹿児島県内の夜間中学に興味関心のある方等
- (3) 調査方法等 各市町村教育委員会と連携を図り、以下の施設等において、ニーズ調査用紙（英語版、中国語版も用意）を配布
 - ・ 図書館や公民館 ・ 高齢者施設や就労支援施設
 - ・ 不登校・ひきこもり支援機関等 ・ 駅や商業施設※ 特に、民生委員やフリースクール関係者など、夜間中学への入学を希望する可能性のある方と接触する機会が多いと思われる職種の方々に対しては、直接、希望者に調査用紙を渡してもらえよう依頼
- (4) 回答方法等 返信用はがきやFAX, Web上などによる回答

2 ニーズ調査結果の概要

回答数 387件



- 入学を希望するとの回答は136件あった。
- 入学を希望しないとの回答は251件あったが、回答者の自由記述欄における意見等の内容を見ると、「学びたい人が学べる環境を整備することが重要。」「今から頑張りたい人を是非応援してほしい。」「家の手伝いや戦争等で学校に通えず、勉強したいと言っていた祖父母を通わせたかった。」など、夜間中学の設置に肯定的な回答が多かった。
- 回答の中には、「毎日通うのは困難だと思う。」「興味はあるが、年齢や時間的に難しい。」「夜の運転はしたくない。」など、通いたくても通えない趣旨の意見もあった。

<回答者の居住地>

地区	市町村	人数	地区	市町村	人数	地区	市町村	人数	地区	市町村	人数
鹿児島	鹿児島市	77	北薩	阿久根市	48	大隅	鹿屋市	30	大島	奄美市	3
	日置市	3		出水市	5		垂水市	6		大和村	0
	いちき串木野市	2		薩摩川内市	6		曾於市	3		宇検村	9
	三島村	0		さつま町	0		志布志市	26		瀬戸内町	2
	十島村	4		長島町	1		大崎町	21		龍郷町	0
南薩	枕崎市	1	姶良・伊佐	霧島市	5		東串良町	52		喜界町	0
	指宿市	4		伊佐市	1		錦江町	3		徳之島町	1
	南さつま市	2		姶良市	9		南大隅町	2		天城町	0
	南九州市	4		湧水町	2		肝付町	14		伊仙町	0
						熊毛	西之表市	0		和泊町	0
							中種子町	0		知名町	27
							南種子町	0		与論町	1
							屋久島町	7			
										合計	387

※ その他:6人

鹿児島県と回答した方が5人, 京都市と回答した方が1人

○ 鹿児島地区, 大隅地区, 北薩地区を中心に, 離島も含めおよそ県内全域から回答があった。

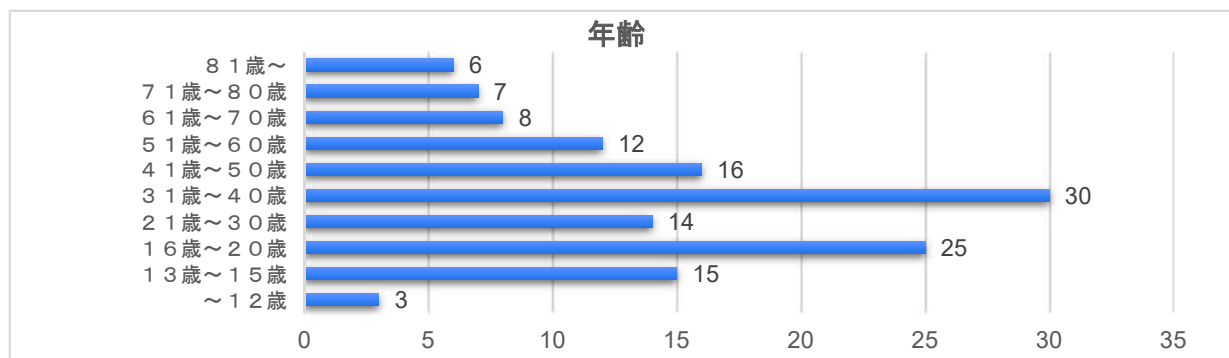
※ 回答数については, 調査の実施に協力いただいた各種団体・機関等による各市町村での調査用紙の配布・回収に係る関与の程度による影響もあったと考えられる。

3 入学希望者の回答の詳細等

※ 以下の(1)～(10)は, 「通学したい」と回答した136件の回答の詳細。

(1) 今何歳ですか。

<年齢層について>



○ 各年齢層にニーズがあり, 9歳から92歳までと幅広い世代から回答があった。

○ 31歳から40歳の希望者が30人と一番多く, 次いで16歳から20歳の方の希望者が25人と多かった。また, 退職されている可能性のある61歳以上の方は21人, 就職している可能性のある21歳～60歳の方は72人いた。このほか, 15歳以下の方も18人いた(うち15人が学齢期の児童生徒と推察される。)

※ P3【クロス集計①】各市町村における入学希望者の年齢構成

P6【クロス集計③】年齢別入学希望理由

(2) どこに住んでいますか。

地区	市町村	人数	地区	市町村	人数	地区	市町村	人数	地区	市町村	人数
鹿児島	鹿児島市	33	北薩	阿久根市	12	大隅	鹿屋市	29	大島	奄美市	2
	日置市	1		出水市	2		垂水市	4		大和村	0
	いちき串木野市	0		薩摩川内市	4		曾於市	1		宇検村	1
	三島村	0		さつま町	0		志布志市	6		瀬戸内町	1
	十島村	1		長島町	0		大崎町	3		龍郷町	0
南薩	枕崎市	0	始良・伊佐	霧島市	2		東串良町	5		喜界町	0
	指宿市	1		伊佐市	0		錦江町	3		徳之島町	0
	南さつま市	1		始良市	0		南大隅町	2		天城町	0
	南九州市	0		湧水町	0		肝付町	14		伊仙町	0
						熊毛	西之表市	0		和泊町	0
							中種子町	0		知名町	4
							南種子町	0		与論町	0
							屋久島町	2			
								合計	136		

※ その他:2人
鹿児島県と回答した方が2人

※ その他:2人

鹿児島県と回答した方が2人

- 回答は、地域的な偏りもみられたが、県内全域にわたっていた。
- 鹿児島市（33人）のほか、鹿屋市（29人）を中心とする大隅地区（67人）の方々から、多くの入学希望の回答があった。また、阿久根市（12人）を中心とする北薩地区（18人）からも一定の入学希望の回答があった。このほか、始良・伊佐地区（2人）や南薩地区（2人）、奄美大島（4人）、沖永良部島（4人）、屋久島（2人）等から入学希望の回答があった。
- ※ 回答結果については、調査の実施に協力いただいた各種団体・機関等による各市町村での調査用紙の配布・回収に係る関与の程度による影響も考えられる。

【クロス集計①】各市町村における入学希望者の年齢構成

地区	市町村	15歳以下	16歳～20歳	21歳～60歳	61歳以上	地区	市町村	15歳以下	16歳～20歳	21歳～60歳	61歳以上	地区	市町村	15歳以下	16歳～20歳	21歳～60歳	61歳以上	
鹿児島	鹿児島市	10	2	18	3	北薩	阿久根市	0	0	6	6	大隅	鹿屋市	3	12	13	1	
	日置市	1	0	0	0		出水市	1	0	1	0		垂水市	0	2	1	1	
	いちき串木野市	0	0	0	0		薩摩川内市	1	0	2	1		曾於市	0	0	1	0	
	三島村	0	0	0	0		さつま町	0	0	0	0		志布志市	0	1	3	2	
	十島村	0	0	0	1		長島町	0	0	0	0		大崎町	0	1	1	1	
南薩	枕崎市	0	0	0	0	始良・伊佐	霧島市	0	0	2	0		大島	東串良町	0	2	3	0
	指宿市	0	0	1	0		伊佐市	0	0	0	0			錦江町	1	1	1	0
	南さつま市	0	0	1	0		始良市	0	0	0	0			南大隅町	0	0	2	0
	南九州市	0	0	0	0		湧水町	0	0	0	0			肝付町	0	4	10	0
												熊毛		西之表市	0	0	0	0
														中種子町	0	0	0	0
														南種子町	0	0	0	0
														屋久島町	0	0	0	2
※ その他:2人 いずれの方も21歳～60歳												合計		136				

※ その他:2人

いずれの方も21歳～60歳

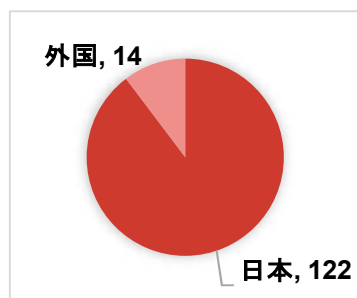
- 各地域において、回答のあった入学希望者の年齢構成にはばらつきがみられた。大隅地区からは16歳～20歳の方からの回答が多く、鹿児島市からは15歳以下の方からの回答が多かった。

(3) どの市町村なら通えますか。(複数回答)

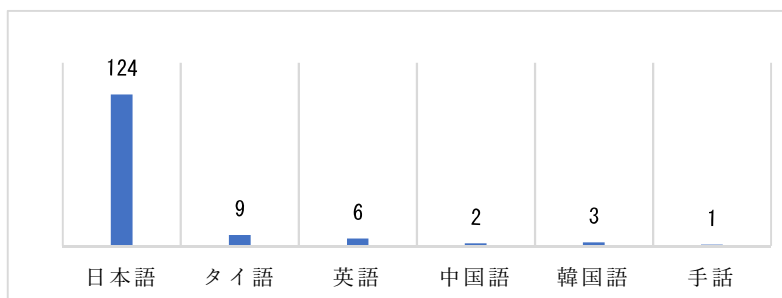
地区	市町村	人数	地区	市町村	人数	地区	市町村	人数	地区	市町村	人数
鹿児島	鹿児島市	38	北薩	阿久根市	13	大隅	鹿屋市	48	大島	奄美市	2
	日置市	2		出水市	9		垂水市	4		大和村	0
	いちき串木野市	2		薩摩川内市	5		曾於市	1		宇検村	1
	三島村	0		さつま町	0		志布志市	6		瀬戸内町	1
	十島村	1		長島町	0		大崎町	3		龍郷町	0
南薩	枕崎市	0	始良・伊佐	霧島市	2		東串良町	5		喜界町	0
	指宿市	1		伊佐市	0		錦江町	3		徳之島町	0
	南さつま市	2		始良市	2		南大隅町	2		天城町	0
	南九州市	1		湧水町	0		肝付町	14		伊仙町	0
						熊毛	西之表市	0		和泊町	0
							中種子町	0		知名町	4
							南種子町	0		与論町	0
							屋久島町	2			
										合計	174

- 居住地以外の市町村でも通学したいとの回答が多くあった（36人）。
- 鹿児島市（38人）や鹿屋市（48人）であれば通学可能であるとの回答が多かった。

(4) 出身はどこですか。



(5) 使える言語は何ですか。(複数回答可)

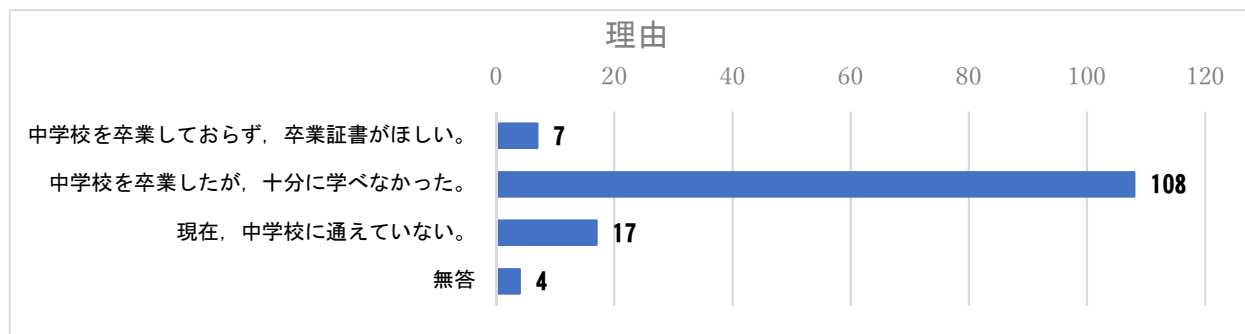


【クロス集計②】居住地別の外国出身者の人数

地区	市町村	人数	地区	市町村	人数	地区	市町村	人数	地区	市町村	人数
鹿児島	鹿児島市	1	北薩	阿久根市	0	大隅	鹿屋市	8	大島	奄美市	0
	日置市	0		出水市	0		垂水市	1		大和村	0
	いちき串木野市	0		薩摩川内市	0		曾於市	0		宇検村	0
	三島村	0		さつま町	0		志布志市	0		瀬戸内町	0
	十島村	0		長島町	0		大崎町	0		龍郷町	0
南薩	枕崎市	0	始良・伊佐	霧島市	0		東串良町	2		喜界町	0
	指宿市	1		伊佐市	0		錦江町	0		徳之島町	0
	南さつま市	0		始良市	0		南大隅町	0		天城町	0
	南九州市	0		湧水町	0		肝付町	1		伊仙町	0
						熊毛	西之表市	0		和泊町	0
							中種子町	0		知名町	0
							南種子町	0		与論町	0
							屋久島町	0			
										合計	14

- 回答のあった外国出身者の入学希望者（14人）の居住地は、4市2町であった。そのうち、日本語が使用できない方は12人いた。
- ・ タイ語のみ9人 ・ 英語と韓国語2人 ・ 英語のみ1人

(6) 夜間中学で学びたい理由を教えてください。



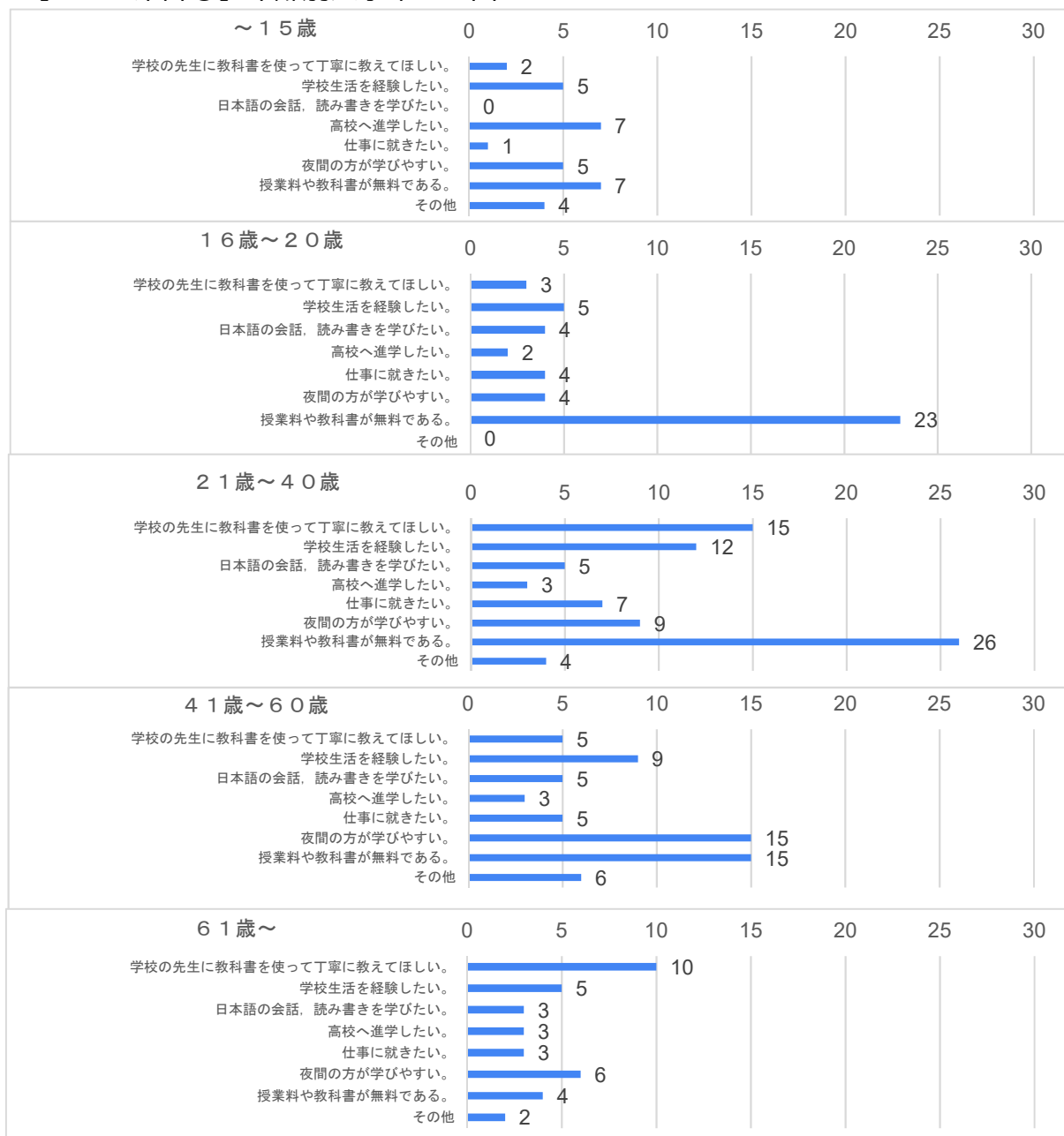
- 中学校を卒業したが、十分に学べなかった方（いわゆる「形式卒業」の方）が多かった。
- 中学校を卒業しておらず、卒業証書がほしいと回答した方7人のうち、3人は外国出身（タイ）の方であった。
- 現在、学校に通えていないことを理由に、入学を希望している方も17人いた。
- ※ 学齢期以降の方で「現在、中学校に通えていない。」と回答した者もいたこと等から、3の(1)に示した学齢期の児童生徒の数値とは合わない。

(7) 夜間中学で学びたい理由をくわしく教えてください。（複数回答可）



- 「授業料や教科書が無料である。」（75人）や、「学校生活を経験したい。」（36人）、「学校の先生が教科書を使って教えてくれる。」（35人）など、公立中学校ならではの機能に着目した回答が多かった。
- 「日本語の会話、読み書きを学びたい。」という方のうち、9人が外国出身の方であり、8人が日本の方であった（障害のある方や不登校で義務教育段階の学びを受けられなかった方等）。
- 「その他」の回答としては、例えば、以下のとおりだった。
 - ・ 学びたい意欲がある（7人） ・ 苦手だった科目を再度勉強したい（2人）
 - ・ 起立性調節障害のため（3人） ・ 人が少ない時間帯なら通いやすい（2人）

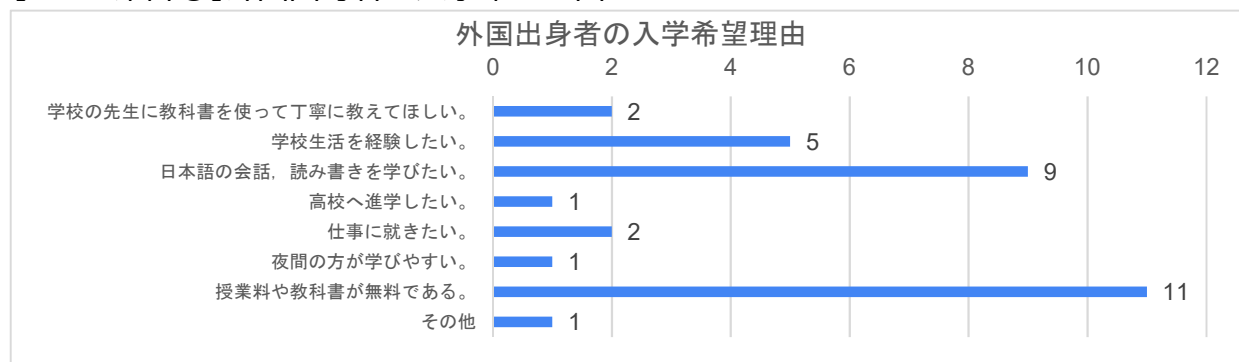
【クロス集計③】年齢別入学希望理由



<年齢別の入学希望理由>

- ほとどの世代も、「授業料や教科書が無料である。」ことを入学希望理由に挙げている方の人数が最も多かった。
- 「授業料や教科書が無料である。」こと以外にも、「学校の先生に教科書を使って丁寧に教えてほしい。」「学校生活を経験したい。」「高校へ進学したい。」「仕事に就きたい。」「夜間の方が学びやすい。」ことなど、公立夜間中学ならではの特徴を理由として挙げている方は、どの世代にもみられた。
- 各年代別にみると、15歳以下の方は「高校へ進学したい。」、16歳から20歳は「学校生活を経験したい。」、21歳から40歳と61歳以上の方は「学校の先生に教科書を使って丁寧に教えてほしい。」、41歳～60歳の方は「夜間の方が学びやすい。」と回答した方が多かった。

【クロス集計④】外国出身者の入学希望理由

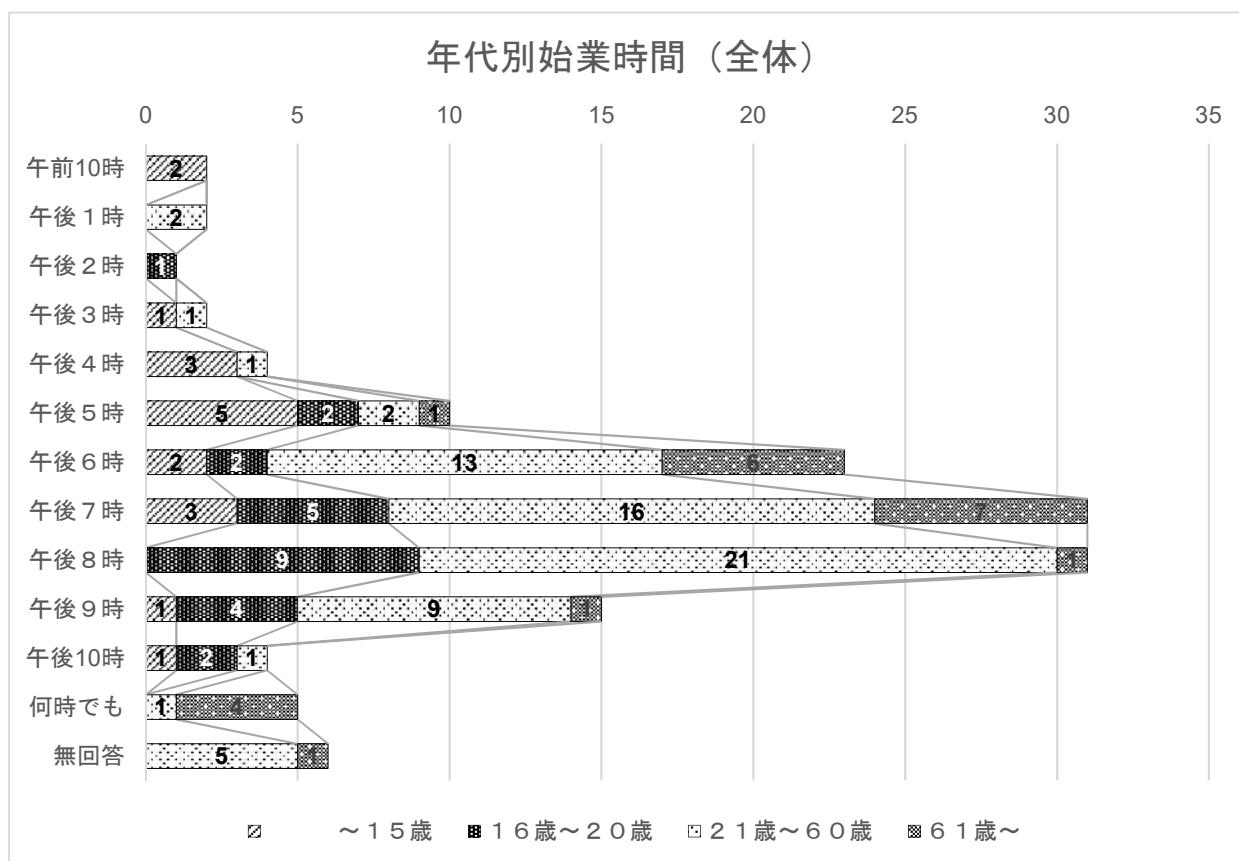


○ 外国出身者(14人)で、「授業料や教科書が無料である。」を選んだ方は 11 人と一番多かった。

○ 「日本語の会話、読み書きを学びたい。」を選んだ方は9人であった。

(8) 夜間中学の始業は、何時からがよいですか。

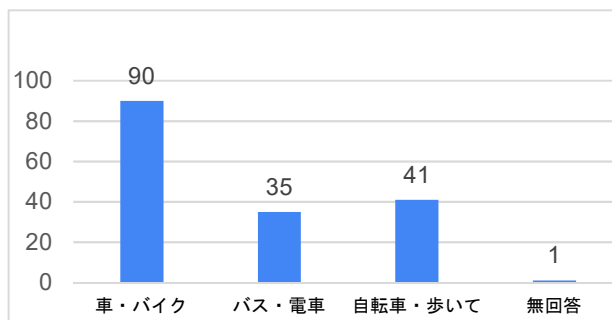
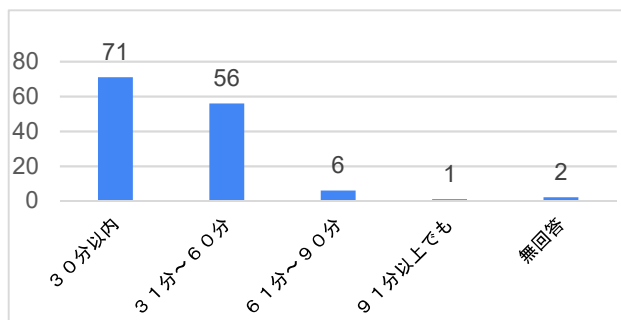
【クロス集計⑤】希望始業時間別年齢



○ 全体的には、午後6時～午後8時の始業を求める回答が多かった。

○ 15歳以下(主に学齢段階)の方は午後4時～7時、61歳以上(主にリタイアメント層)の方は午後6時～7時、16歳～60歳(主に就労世代)の方は午後7時～8時の始業希望が多かった。

- (9) 通学時間にどれくらいかけられますか。 (10) どのように通学することが考えられますか。
(複数回答)



<通学時間>

- 入学希望者の9割以上の方が、通学時間は60分以内と回答しており、5割以上の方が、30分以内と回答している。

<通学手段>

- 入学希望者のうち、約7割の方が、車・バイク等で通学が可能であると回答している。
- バス・電車、自転車・歩いて等で通学が可能であると回答した方はそれぞれ約3割である。

通学希望者の回答

意見

子供に聞いて私(母)が入力しました。是非とも夜間中学を開校して頂きたいです。

起立性調節障害のため、学校に通えていません。夜は比較的、体調が良いので、夜間に学校があれば通いたいです。

僕はろう者で日本語が苦手。日本語を身に付けたいので、フォームしました。

私は毎日通うことは困難だと思いますが、学校は毎日あるのでしょうか。

是非、開設してほしいです。発達障害があり、同級生との関わりは難しいが、高齢者・大人と一緒にだったら学校に行きやすいと思います。よろしくお願いします。

現在、不登校支援をしている者です。現在、不登校で中学校に1日も通えていない子どもの相談が後を絶ちません。理由は様々ですが、起立性調節障害とHSCの子どもがとても多いです。朝体調が悪いので、始業時間が午後からだと通いやすいと思います。そして、制服の有無やクラスや先生を自分で選べるようなシステムだと不登校の子ども達も通いやすいと話していました。今の校区の中学校から転校をしないといけないとハードルが高くなってしまいますので、併用で通えたり校区の学校と連携が取れると尚良いと思います。鹿児島にこのような夜間中学ができることに大変期待しております。是非とも実現に向けてよろしくお願い致します。

現役の中学生も通えるようにして欲しい。地域の中学に通えなくて不登校になっても夜間中学やフリースクール等で無料で学ぶ場所の選択肢を増やして欲しい。お願いします。

高校試験や大学入試などのサポート

起立性調節障害・HSPの娘がいます。学校側に理解してもらっているようには感じられていません。面倒くさがられているように感じ、本人も親も引け目を感じています。夜間中学校のような場があれば、出席日数としてカウントされ、高校進学也希望も持てると思います。是非実現してほしいです。

早く作ってください。

外国人を対象にするのもいいが、いじめられて中学課程をまともに履修できていないのでその補完。又、不登校児童生徒への学習の場の提供にも利用していただきたい。

夜間なので、毎日というわけにはいかないかもしれないけれど、部活、クラブ活動、同好会のようなものができればあってほしい。(行事・イベントもあればもっとよい)

学ぶ機会を多様にもつことは、とても大事なことと思います。

場所を早く教えてほしい。

とにかく学びたい。

自分の市に夜間中学ができたら通いたい。

もう一度しっかり学びたい。

外国人やマイノリティの方の支援をしてほしい。

不登校を長く経験して社会に出たときに、義務教育で学ぶ様な知識がなくて苦労することが多く、生きづらさを感じることも多いです。このように感じる不登校経験者が沢山いらっしゃると思います。夜間中学の設置を切に強く願います。

外国の方へ日本の良いところを知ってほしい。

起立性調節障害があり、午前中の授業が難しいので、現役中学生のクラスとかがあればいいなと思います。
中学になり、いろいろな小学校からの生徒と一緒に生活すること、各教科の先生が変わることに順応できず1か月ほどで不登校状態です。（祖父から）
私は高校の通信過程を一応卒業しましたが、もう一度学んでみたいです。真剣に。よろしくお願いします。
質 問
高校は卒業していますが夜間中学に通えますか。
毎日登校がキツくなった場合、どうしたらいいのか不安。どのような対応になるのかが知りたいです。
離島に設立はされますか。
通常の学校の様に6時間や5時間になるのでしょうか。
高校受験で差別されないか。
義務教育を終えていても、学び直し場として通えますか。
就職・進路についての相談や斡旋は、先生方にできるのでしょうか。
インターネットで受けられますか。
ぼくは起立性調節障害です。夕方にしか起きられません。学校に行きたいです。友達と遊びたいです。中学校はオンライン授業がまだできないと言います。勉強がどんどん遅れます。早く助けて下さい。同じ中学校で学校に行けない友達がたくさんいます。どうやったら早く夜間中学校を早く作れますか。
現在中学生で不登校な状態から夜間中学に通う事は可能かどうか。
大学のように、学びたい科目を選択して授業を学ぶんですか？それとも一般的な中学校のように全授業を受ける仕組みですか。
高齢なので車の運転はできません。田舎なのでバスや電車も不便です。介護サービスを受ける身で夜間中学に通えますか。
軽度知的障害、自閉症スペクトラムがあります。今の学力的に小学校程度しかないのですが、私のような者でも夜間中学で学べるのでしょうか。
年齢制限はありますか。
どの教科をするのかが知りたいです。1教科の時間、その日の教科は何教科実施するのかを知りたい。

通学希望でない方の回答

意見

子供が不登校でした。昼は引きこもって、夜になると散歩に行っていました。人目が気になり昼間外出できなくなるのです。生きていくには基本的な学力は必要なので、すべての市町村に夜間中学ができて、昼か夜か行きたい学校を選べる時代になればうれしいです。大人の引きこもりも減ると思います。ただ、開校するとしたら、開陽高校のように、単位制で、受けたい授業がある教室に移動して授業を受ける学校がいいです。全日制の中学校とは体制を変えて欲しいです。

身近にあれば利用したい人もいます。

小学校の免許を持っており、もし可能であれば、教員として関わりたいです。夜間学校にとっても興味があります。

必要と感じた時に、学びやすい環境があればいいと思います。

様々な福祉施設で義務教育を修了できなかった方々の存在と、社会的な理由でそのような境遇となった方々の存在を知りました。救済の道が必要だと思います。

みんなが勉強できる環境になることを期待します。

夜間中学、いいと思います。これからも様々な人が平等な教育が行われることを願います

小学校に行かなかったから自分の名前だけしか書けない。

年だから今から行かなくていい。

視覚障害があり、離島のため小学校も行けず、読み書きができない。夜間は通学できない。

素晴らしい企画だと思います。今から頑張りたい人を是非応援してほしいです。

息子が中学生から不登校なので興味がある。

中学だけでなく大学くらいのももしてほしい。

もっと早く開設されれば、祖父母を通わせたかったです。祖母は字が書けませんでした。家の手伝いや戦争等で、勉強したかったと言っていました。どこにできるかは知りませんが、必要な人がいる限り開設していただきたいです。

自分は行く必要性はないが、不登校等の生徒にはよい制度だと思う。

夜間中学へ通える資格はありますか。また、卒業した証書や卒業してからの進路先などがあれば、教えてください。

リモートが流行しているので、通信でよいと思う。

中学に通えなかった人にはすごくいいことだと思います。今の私には時間に追われて余裕がありません。

どれくらいのニーズがあるか気になります。

夜間中学の仕組み、状況など今回のアンケートで初めて知りました。これを機会に様々な教育機関について学びを深めたいです。

教職員の負担がこれ以上ふえないことを願う。

教員不足が話題になっている中、どのように人材確保をしようとしているのか。

コロナウイルスの不安があります。

いろんな事情で受けられない方たちのため必要不可欠であり教育は絶対必要です。

本県で、どの程度ニーズがあるかはわかりませんが、学びたい人が学ぶことができるスタイル（放送大学のやり方やオンラインなども含む）で実施するなど、費用対効果も考えながら可能な進め方を検討していただきたい。
県内、各市町村に夜間中学校があったら少なからず助かる人はいると思います。このように、希望を取ってくださり、ありがとうございます。
仕事内だけでは日本語の習得が難しいので、少しでも学べる機会があればと思う。
外国人を雇用している期間が3年と短いので運用に苦労があるだろうと思う。
何らかの理由で、学び直しを必要とする方々のために、また現役生の不登校の子供たちに選択肢を増やすために、是非設置して頂きたいと思います。
中学の年齢で非行に走り十分に学べない子どももたくさんいました。夜間中学はどんな人にもチャンスを与えてくれる場だと思うので、ぜひ作っていただきたいです。私も何か力になれることがあればボランティアでもお手伝いするので、ぜひご検討していただきたいです。
地域振興局がある市にも設置したほうが良いと思う。
学校にいても授業について行けない子供たちがたくさんいるので、いい考えだと思います。少しでも困っている人の気持ちが届く学校になるといいですね。
オンラインによる授業があれば、現役も含め対応できると考えます。
様々な事情で義務教育を受けていない人、受けられない人に大切なことだと思うので、是非作ってください。
戦時中の方々は、学びたくても学校に行けない方々が多かったと思います。開校されれば参加してみたいと望まれると思うので、とてもよい取組だと期待しています。
設置されるとしたら大きな都市になってしまうのか。通いやすい夜間中学にしてほしい。
3年間継続して通学することを基本としているのか気になる。6か月や1年単位での通学も是非検討していただきたい。不登校の児童など、中途編入ができる、また、オンラインで学べるなどの方法があればよいと思うが。
全国に確か70万人もの人が小学校卒だとニュースで聞いて驚きました。そのような方が、今から学べる場がほしいというのであれば、各市町村に開設したらいいと思います。学ぶことによってその人の考えが深まり、人生を少しでも潤いのある場にしていくことは、よいことだと思います。中学校に行きたくても中学校に行くことができない人に対して、支援できるといいですね。又、不登校の子供たちにも手を差し伸べることができたら。
3年生から学びたい等、学年途中から入学できるのでしょうか。
学びの場が増えること、選択肢が増えることは大変喜ばしいと思います。実際、子供たちの中にも不登校の方も増えつつあるように思いますので、併せて障害のある方、発達支援の必要な方への配慮も必要となってくると思いますので、御検討いただければ幸いです。
集落に引きこもりの子供がいても遠くから見ているだけです。夜間中学でもあって出かけるきっかけになれば社会に出て行けるのではと思います。
今は不登校も多いと聞きます。私の周りにもいました。各地区で設置できるのが理想ですが、それも難しいでしょうから、ZOOMなどオンラインで参加でき、1年に1、2回ほど集まって、授業などあれば現実的なのかもしれません。
いろんな事情で学ぶことができなかった人たちが、もう一度勉強したいと思ったとき、夜間中学があったらすごく助かると思います。また、いろいろな年代の人たちや外国の人たちと一緒に学べる機会があれば、生きていくための勉強もでき、その人を大きく成長させることでしょう。

技能実習生向けの無料講座が必要。鹿児島市内にいくことは無理なので各市で積極的に取り組んでほしい。
自分の市に日本語教室がほしい。
免許を持っている中学校の先生が教える、とあるが、それにより中学校教師の負担増にはならないか（夜間中学校のための中学校教員の採用があるのか）
各都道府県にあるものと思っていた。夜間中学は、学びたい人にいくつになっても門戸を開いている大切な学び舎なので、ぜひ、各都道府県に1か所は設けてほしい。その後（卒業後）夜間高校などへ進学する方もいるかと思います。
小学校時代戦争で勉強ができなかったので、学びたい気持ちはありますが、年を取ってしまい思うようにできないです。
私が「通いたい」のではなく、「通わせたい」気持ちがあります。不登校の子どもたちの学習の保障をつくる機会を作ってほしいです。できれば、小学5年生以上でも、そのような施設を作ってほしいぐらいです。
どのくらいの方が夜間中学を必要と考えているのか世代別に統計をとる必要があるのではと考えます。
現在、中学校に在籍しているが、不登校の生徒も通学できるのか知りたい。
年齢的に難しいです。興味はありますが、時間的に難しそう。
あったらいいと思います。
趣旨はとても大切なことだと思います。幅広いニーズにどう応えるか難しい面もあるでしょうが、十分御検討ください。
夜間中学でも、生徒会や部活動などが充実しているとありがたいと思う。
現在は、鹿児島県にはないとのことですが、現状は外国の方々の就労等、ウクライナから避難されてきた方々がいて、日常生活に支障をきたすのではないかと、その方々の支援のために開いてほしい。
私自身は幸い必要な教育を受ける機会を十分に与えていただいたと思います。もしそのような制度で教育を受ける機会を得られる方がいらっしゃるのなら是非進めてほしいものです。
現在の日本で中学を卒業していない人、中学を学びたい人が多いとは思えず、中学より夜間高校の設置、援助を考えてみては。
学校に行けない子供が多いので、必要なのではないかと思います。高齢者で勉強したい人も多いのではないかと思います。
夜の運転をしたくない。
質 問
運転免許を返納した高齢者や日本の運転免許を取得していない外国籍の方が希望するかもしれませんが、こういった方々への交通アクセスの支援は検討されるのでしょうか。
通学時の安全が保たれるか。
時代背景で通えなかった方、学び直したい方、不登校の方、学べる機会の確保は必要ですが、それがなぜ夜間なのかな。
なぜ、外国籍の方もこのような教育を受けることができるのですか。
どの程度のニーズがあり、どのような学習が行われているのかを知りたい。
遠足、体育祭などを行うのも夜間なのでしょう。通いたい人がかなりの人数集まった場合、1クラスあたりの人数は？また、集まらなかった場合、少人数で何人なら授業してもらえるのか。

夜間中学校に関するニーズ調査の実施について

1 調査の目的

本県における夜間中学の設置・在り方等に関する検討に資するよう、必要な情報を得ることを目的とする。

2 調査方法等

市町村教育委員会と連携を図り、以下の調査用紙等の配布により、任意によるニーズ調査を実施（それぞれ日本語版，英語版，中国語版の3言語分を用意）。

- ①郵便はがき付きニーズ調査用紙 10,000枚
（日本語版 8,000枚，英語版・中国語版 各1,000枚）
- ②FAX送信票付きニーズ調査用紙 （数千枚程度）
- ③インターネット上でWeb回答できるフォーム
※このほか，ポスターを1,000枚程度配布予定。

3 主な配布箇所

- 県の関係機関（本庁・出先機関等），各市町村役場等の官公署
- 図書館，公民館，生涯学習センター等の社会教育施設
- 教育支援センター，フリースクール，子供若者相談センター等の不登校・引きこもり関係支援機関
- 高齢者施設，ハローワーク等の福祉関係機関等
- 国際交流協会等の外国人支援機関・団体等
- その他協力可能な企業・団体等（コンビニエンスストアなど）
※潜在的ニーズを有すると考えられる方々を支援する関係者（民生委員やスクールカウンセラー等）による直接の配布等も依頼。

4 広報周知

- 教育委員会や関係部局等のHPやSNS等の活用による発信
- マスコミ等を通じた発信
- 各自治体の広報誌等への掲載
- 各種イベント等における周知

5 調査期間

令和4年7月1日（金）～8月19日（金）

夜間中学に係る広報資料等の周知方法について

番号	周知方法	実施	鹿児島市	日置市	三島村	十島村	枕崎市	指宿市	南さつま市	南九州市	阿久根市	出水市	藤川市内市	薩摩川内市	さつま町	長島町	霧島市	伊佐市	始良市	湧水町	鹿屋市	垂水市	曾於市	志布志市	大崎町	東串良町	錦江町	南大隅町	肝付町	西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町	奄美市	大和村	宇検村	瀬戸内町	龍郷町	喜界町	徳之島町	天城町	伊仙町	和泊町	知名町	与論町				
1	市町村・教育委員会ホームページ	30	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
2	市町村・教育委員会SNS (Twitter, Facebookなど)	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	市町村部局 (掲示・配布)	40	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
4	教育委員会 (掲示・配布)	42	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
5	自治体広報誌	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
6	自治体回覧板	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
7	図書館 (掲示・配布)	36	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
8	公民館 (掲示・配布)	37	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
9	体育館 (掲示・配布)	22	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	生涯学習センター (掲示・配布)	21	1	0	0	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
11	学校 (掲示・配布)	33	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
12	学校ホームページ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13	学校メール・SNS (メール, LINE, Twitter, Facebookなど)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
14	スクールソーシャルワーカー	19	1	0	1	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
15	フリースクール	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
16	教育支援センター (掲示・配布)	11	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
17	福祉部局への配布	32	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
18	国際交流関係部局への配布	11	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
19	保健関係部局への配布	19	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20	就労支援施設への配布	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
21	国際交流施設への配布	5	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	市町村立病院への配布	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
23	イベント・行事 (配布・紹介)	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								

（「その他」の内容）

市立美術館、考古歴史館、維新ふるさと館、市民文化ホール、子ども電話相談センター、教育相談員、郵便局、民生委員・児童委員会等、教育長が直接説明・依頼、スパー等